反対同盟ニュース

2017年7月16日　第46号

三里塚芝山連合空港反対同盟

（連絡先）事務局長・北原鉱治　千葉県成田市三里塚１１５

Tel0476-35-0087 http://www.sanrizuka-doumei.jp/

7・9現地闘争＆樫の木まつりに180人

強制執行阻止を決意

強制執行の対象となっている南台の畑から市東さん宅までデモ行進（上＝成田市取香）。来訪した済州島の空港反対農民と記念撮影（市東さん宅庭）

韓国・済州島から第２空港反対農民が来訪

７月９日、市東孝雄さん宅で「三里塚現地闘争&樫の木まつり」が開催されました。北は福島、南は沖縄から多くの人が代表が参加し、韓国・済州島から第２空港建設に反対農民がかけつけ 180 人の盛り上がりになりました。正午南台の畑に集まって実地見学。その後市東さん宅までデモ行進し、午後２時から「樫の木まつり」が始まりました。反対同盟から肉じゃが、焼きそばなどがふるまわれ、参加者からも稲荷ずしやゆで卵、お菓子、そして周辺農民からはミニトマトなどが差し入れられ、皆で舌鼓を打ちました。発言では済州島農民が「三里塚の精神を韓国へ持ち帰る」ときっぱり。全員が強制執行対象地に立って、「この畑を守る」と決意しました。

８月10日裁判所提出へ、強制執行反対署名を

市東さんへの強制執行阻止

8・10

第3回請求異議裁判

●８月10日（木）午前10時30分
●千葉地方裁判所６０１号法廷

弁論前に裁判所を包囲するデモ

●８月10日（木）午前９時　千葉市中央公園集合
●午前９時30分　裁判所にむけデモ出発

NAA 見直し案 4つのウソ暴く

①「深夜延長は１時間に短縮する」のウソ

「空港機能強化見直し案」では、Ａランの飛行時間延長を先に行い「１時間におさえる」と宣伝しています。しかしそれもＣ滑走路ができるまでの話。Ｃランができれば「睡眠時間４時間」は変わらず住民の被害は変わらないないのです。卑劣なウソの典型です。

②「スライド方式で静穏時間が６時間」のウソ

「スライド方式」とは３本の滑走路を①ＡランとＢラン②ＡランとＣランの２つのグループに分け、朝５時から夜 11 時の早番と朝６時 30 分から夜の 0 時 30 分の遅番にし、定期的に入れ替える。そうすれば「飛ばない時間を６時間確保できる」というものですが机上の空論です。

いわゆる「谷間地区」は右からも左からも騒音が押し寄せ、しかも「内窓対策」の対象にすらなっていません。滑走路直下地域でも騒音はその滑走路の飛行だけから来るものではなく、A、B、Cのそれぞれから押し寄せるのです。

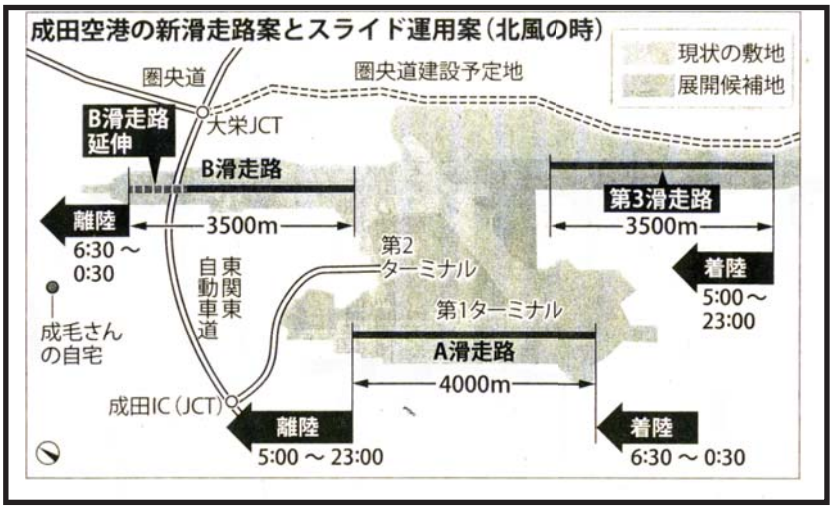
③「飛行制限の解除」など都合悪いことを隠すウソ

ＮＡＡは自分に都合の悪いことは隠します。その一つは飛行頻度をべらぼうに多くすることです。現在午後 10 時台は「10 便まで」という飛行制限がありますが、これを解除して、事実上無制限にします。２つ目は夜の 0 時半以降にいわゆる「カーフュー」の時間帯を設けていることです。「カーフュー」とは「やむをえない例外的な場合にだけ飛行時間を延長する」と２０１３年に設定されました。ところが、現在のカーフューの回数は激しく拡大し、去年は前年の１・７倍にもなりました。「例外」でもなんでもなく、飛びほうだいにしています。これと同じことが夜中の 0 時 30 分以降頻発します。結局１時まで飛ばすのです。

④「新たな環境対策」のウソ

成田が開港してからの40年はＮＡＡの約束違反の歴史でした。「滑走路建設では２度と強制的手段を取らない」と言った「成田シンポジウム」の約束は見る影もありません。開港時の「内陸空港による制限」の約束も破られています。「空港優先」の姿勢が変わらない以上、ＮＡＡの言葉は信用できません。農地と自然を1000ヘクタールも破壊し、600戸を強制移転させる第３滑走路計画、さらに50万回飛行を強行する姿勢に変わりはないのです。「空港優先、住民は犠牲」というＮＡＡの態度が変わりません。力をあわせて白紙撤回させましょう。

スライド制の図



騒音被害による心筋梗塞等を警告する松井利仁北海道大学教授（２０１４年成田市）

成田の騒音 厚木の10倍

この上、50 万回飛行？ 絶対認めない

騒音が人体に及ぼす研究の専門家・北海道大学の松井利仁教授は、２０１４年 11 月に市民団体の主催で、成田公民館で講演を行いました。そこで成田空港の騒音について警告を発しました。２０１４年5月１審、15 年７月の高裁で自衛隊機の飛行差し止めをかちとった厚木基地の騒音よりも、成田空港の騒音の方が 10 倍も深刻だと指摘したのです。今の騒音でも飛行差し止めが認められるほどの深刻な騒音被害が発生しているということです。

心筋梗塞など危険２倍に

騒音は単に心理的な影響にとどまるものではありません。とりわけ夜間騒音による睡眠障害は、人体の免疫を低下させ、高血圧、心筋梗塞などの危険性を２倍に高めます。現状でも成田空港の騒音は大変危険なのです。これを３倍にも４倍にも拡大する第３滑走路建設、50 万回飛行、20 時間飛行をどうして認めることができるでしょうか。

自衛隊機の飛行差し止め判決をかちとった厚木爆音訴訟原告団（15年７月）

「空港機能強化案」は周辺騒音下住民の健康を破壊する元凶です。「見直し案」は何も変わりません。白紙撤回をかちとるまで闘いましょう。

６月 24 日に立てられた横芝光町小堤区の看板

横芝光町の小堤（おんづみ）区にも反対看板立つ

６月 24 日、横芝光町小堤（おんづみ）区で「空港騒音断固反対」の看板が立ちました。2 月の中台区、４月の木戸台区、５月の横芝区有志の看板に続いて４カ所目です。今回の看板は「見直し案」の後に立てられたもので、この提案に対する拒否の意志表示です。小堤区に続こう。

地域住民の声

成田～芝山～多古～横芝光

今回は多古町、横芝光町の住民から意見を聞きました。「空港機能強化の見直し案」についてのあらためての怒り、ついに崩壊への急坂を転げ始めた安倍政権弾劾の声をいただきました。

◆「見直し案」でＮＡＡは何も譲歩していない

横芝光町　元農業（男性）

ＮＡＡが見直し案を出したが、住民の要求にまったく応えてない。俺たちは、「譲歩しろ」と言っているのに、ＮＡＡはスライドとか何とか、小手先の話はするけど、第３滑走路はそのまま。飛行回数も50万回で変わらない。ただ深夜早朝便だけ、ちょっと数字をいじって見せているが、第３ができれば、元の20時間に戻るっていうんだから話にならない。

横芝光では第３滑走路への反対が強いんだ。今のＢランより４キロ南に３５００メートルの滑走路を造る。誰かの計算では、今のＢ滑走路での離着陸よりも３００メートル高度が低くなるっていうんだ。今でもがまんできない騒音だっていうのに、これ以上まっぴらゴメンだよ。

◆安倍政権の惨敗に気持ちすっきり

多古町　会社員（男性）

都議選で安倍政権と自民党が惨敗して気持ちがすっきりした。なんであんなデタラメな連中が支持率が高いのかと不思議でならなかった。世間では「変わりがいないからだ」と言われていたが、安倍政権自体のやってきたことのあまりのひどさに、そんな理由で居座り続けさせるわけにはいかないと思っていた。

負けても改憲にまだしがみついている。辺野古の埋め立てもやめようとしない。福島の事故にもかかわらず、原発の再稼働を進めている。ここで手をゆるめちゃならない。

市東さんの強制執行を許さない運動に注目している。応援はしているよ。

6・25

第４回天神峰カフェ賑（にぎ）やかに

第３滑走路を現地調査　次回は７月 23 日

横芝光町中台区の看板の前で記念撮影

４回目の天神峰カフェが６月25日、市東孝雄さん宅で行われ、東京、神奈川、千葉などから24人が集まりました。第３滑走路の現地調査では横芝光町にまで足を延ばし、「空港機能強化反対」の看板を見学しました。途中、小堤（おんづみ）地区を通ると前日に立ったばかりの新看板を発見。歓声があがりました。次は７月23日です。